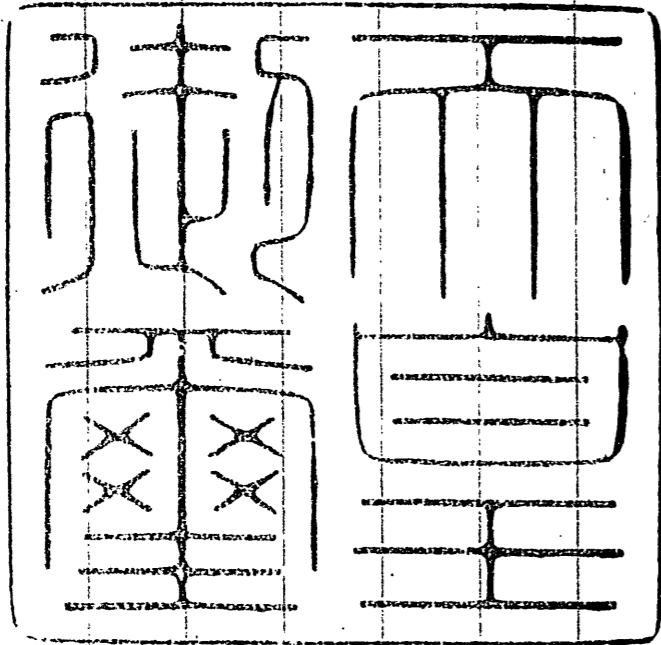


法律第三十號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル軍事特別措  
置法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和二十年三月二十七日

内閣總理大臣	小磯 國昭
海軍大臣	米内 光政
陸軍大臣	杉山 元

法律第三十號

軍事特別措置法

第一條 本法ハ大東亞戰爭ニ際シ築城、設營其ノ他勅令ヲ以テ定ムル軍事上緊要ナル事項ノ整備ヲ爲スヲ目的トス

本法適用ノ區域ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 政府ハ必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ土地、建物其ノ他ノ工作物又ハ物件ヲ管理、使用又ハ收用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ收用シタル土地、建物其ノ他ノ工作物不用ニ歸シタル場合ニ於テ其ノ處分ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第三條 政府ハ必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ建物其ノ他ノ工作物ニ付移轉、除却其ノ他ノ行爲ヲ命ジ若ハ新築、改築、増築、移轉、除却其ノ他ノ行爲ヲ禁止若ハ制限シ又ハ土石

竹木其ノ他ノ物件ニ付移轉、除却其ノ他ノ行爲ヲ命ジ若ハ之ヲ禁止若ハ制限スルコトヲ得  
前項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者其ノ命令ニ従ハザルトキ又ハ緊急ノ必要アルトキハ政  
府ハ同項ニ掲グル物ニ付移轉、除却其ノ他ノ行爲ヲ爲スコトヲ得

第四條 政府ハ必要アルトキハ住居ノ移轉ヲ命ジ若ハ之ヲ禁止若ハ制限シ、住居ノ指定ヲ爲  
シ又ハ人ノ移動ヲ命ジ若ハ之ヲ禁止若ハ制限スルコトヲ得

第五條 政府ハ必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民ヲシテ所要ノ業務ニ従事セシ  
メ又ハ帝國法人其ノ他ノ團體ヲシテ之ニ協力セシムルコトヲ得

第六條 政府ハ第三條乃至前條ノ場合ニ於テ必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵  
シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ立入り検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第七條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第二條乃至第四條ノ規定ニ依ル命令又ハ處分ニ因リ生  
ジタル損失ヲ補償ス

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第二條第一項ノ規定ニ依ル土地、建物其ノ他ノ工作物又ハ物件ノ管理、使用又ハ收用ヲ  
拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

二 第三條第一項又ハ第四條ノ規定ニ依ル命令又ハ禁止若ハ制限ニ違反シタル者

三 第三條第二項ノ規定ニ依ル移轉、除却其ノ他ノ行爲ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

第九條 第五條ノ規定ニ違反シ所要ノ業務ニ従事セザル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ  
罰金ニ處ス

第十條 第六條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ立入検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下  
ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十一條 第六條ノ規定ニ依ル報告ヲ怠リ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ  
處ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

四

軍事特別措置法案理由書

大東亞戰爭ニ際シ築城、設營其ノ他軍事上緊要ナル事項ヲ整備シ以テ國土防衛ノ完璧ヲ期スルノ要アリ是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

五